

# 関西エリア 行政ニュース

## 大阪府 府立高校生の11%がケアラー

大阪府は4日、府立高校全生徒を対象に実施したヤングケアラーの生活実態や学校生活への影響に関する調査の結果を公表した。この調査は今年7月～9月にかけて10万9264名を対象にWeb上で実施し、8万855名が回答した。

「世話をしている家族がいる」のは11.4%で、昨年度調査より4.9ポイント増加した。世話をしている相手(複数回答)は兄弟姉妹が最も多く68.1%。父母は29.7%、祖父母は9.9%。「世話の頻度」については「ほぼ毎日」が39.1%。

「世話を必要とする家族のことや世話の悩みを相談したことがある」という生徒は全体の12.1%にとどまった。また「世話をしている家族がおり、支援を望む」と回答した生徒は15.3%。望む支援内容(複数回答)は「自由に使える時間が欲しい」「家族の経済的な支援」「学習のサポート」「進路や就職などの相談」「自分の今の状況について話を聞いて欲しい」などが上位となっている。

## 兵庫県 「アートとこころのケア」講座

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構と兵庫県では、県民向け講座「アートとこころのケア講座」の受講生を12月13日まで募集している。この講座は芸術療法や園芸療法、ダンスセラピーなどについて具体的な内容や手法を学ぶもの。講座は来年1月21・28日、2月4・18日、3月4日の計5日間。会場は神戸市の県こころのケアセンター。受講料は5800円。受講可能なのは県在住・在勤・在学者。定員は50名。

## 大津市 大学生が高齢者向けレシピ考案

大津市が龍谷大学農学部へ委託して開発が進められてきた「フレイル予防のための高齢者向け惣菜レシピ」が完成し、そのうちの1品「かぼちゃのおかずさらだ」が商品化された。関西・北陸2府5県のスーパーマーケット合計140店舗で12月22日まで販売している。このレシピは、管理栄養士の資格取得を目指す学生が考案。高齢者に不足しがちなタンパク質を手軽に摂取できることを念頭においており、今回商品化された「かぼちゃのおかずさらだ」のほか、ひじきサラダなど6つのメニューが紹介されている。

## 神戸市 市営住宅集会所の活用者募集

神戸市では、高齢化などが理由で住民による運営管理が困難になっている市営住宅集会所を活用し、コミュニティ活性化などに寄与する活動を行う事業者を今月末まで募集している。応募可能なのは、市内に市民税を支払う事業所を有するか、他市町村に市民税を支払う事業所を有し、今後1年以内に市内に事業所を構える計画がある法人。共同での応募も可能。最低月に1回、応募者自身が提案する事業を実施するほか、交流促進・健康づくり・買物支援など、入居者の居住環境の改善につながる場づくりを行うことが条件。集会所の利用料は無料だが、水道光熱費は自己負担。募集しているのは、HAT神戸・灘の浜南など5つの集会所。応募方法等の詳細は、市のホームページを参照。

# 「事業者主導で報酬改定を」

## 介事連 大阪府支部年次総会

一般社団法人全国介護事業者連盟(以下、介事連/東京都千代田区) 障害福祉事業部会大阪府支部の設立総会と、介事連大阪府支部の年次総会が4日に大阪市内で開催され、約400人が参加した。2024年のトリプル改定を見据え、斉藤正行理事長らが「事業者主導での報酬改定ルール作りが必要になる」と訴えた。

71法人だった会員数が22年10月末時点では299に増加、事業所数は2516事業所、総従業員数は約3万3000人にまで拡大したと報告した。

ある方博が、それを交える契機になる」と期待を寄せた。

第2部は講演会。「2024年度改定に向けて一致団結を!」と題し、国に対する発言力が強まる中、社会の状況に合った報酬改定の実現につながる

別に関係なく加盟できないことが発言力の弱さにつながっていると指摘。これが「介護報酬を実際に介護に携わっていない人たちが決めていく一因」との見解を示した。

その上で「事業者主導でルールをつくるのは当たり前のこと。これを現実にするためには業界の一致団結が不可欠。介事連は会員数では介護事業者団体としては最も多くなったが、それでも事業者数ベースでいえば全体の5%程度。まずは10%を、そして近いうちに30%の加盟を目標としていく」と述べた。

### 支部の会員数 300法人目前に

護をはじめとする大阪のパワーを世界に発信するチャンス」と挨拶。杉岡支部長は21年4月の支部発足以来の活動報告として、①自治体などへの各種要望書の提出、②「ローカルルール」解消に向けた活動、③組織拡大、の3点を述べた。特に③については、支部発足時に1

## 障害福祉部会 大阪支部総会も



マで登壇した介事連障害福祉事業部会の中川亮会長は、「国が報酬改定に際してヒアリングを行う団体は、医療ケア児向け事業者団体などが多い。発達領域の障害が大きくクローズアップされている今の状況に合っていないのではないかと問題提起。「サービス種

る」と訴えた。最後は斉藤理事長が「介護保険法改正及び24年同時改定、大改革の行方と介護事業者生き残り戦略」と題し講演。

介護・障害福祉事業の就労者は約300万人と数の上では医師の10倍も多いが、業界として1つにまとまって

関西

# ころやわ

今メディアで話題の商品

医療・介護施設用商品

転倒時のみ 柔らかい

骨折リスクの低減

設置簡単 工事不要 床に置くだけ!

日本では1年間で高齢者の3人に1人が1回以上転倒すると言われています。特に屋内での転倒が多く、骨折した場合は長期間の安静が必要となります。ころやわは歩行時の安定性はもとより、車いすでの利用も可能で、転倒時は高い衝撃吸収性を発揮し、転倒による骨折から高齢者を守ります。



販売・お問合せ

株式会社エクセレントケアサポート

Tel.075-744-6512

Fax.075-744-6547

〒600-8025 京都市下京区河原町通松原上清水町280-1

受付時間 (月～金/9:00～18:00) https://excare-s.co.jp/

お気軽に お問合せ下さい



Magic Shields